



令和3年3月 市議会定例会

令和3年度当初予算を可決 一般会計総額は902億4千万円

平塚市議会は、令和3年2月16日から3月17日まで、30日間の会期で3月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、令和3年度予算や条例の制定など37案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決しました。また、議員から議員の報酬月額減額の条例改正や市議会会議規則の改正に関する会議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。



「私たちの海開き」——春風薫る平塚海岸で——
《撮影 石川海斗さん／平塚学園高等学校写真部》

今号の表紙写真は 平塚学園高等学校写真部に 提供していただきました。

今後も、市民の皆様により親しまれる議会だよりを目指して、学生や市民活動団体にご協力をいただき写真を掲載していきます。

今定例会では、令和3年度一般会計、特別会計及び公営企業会計の予算を可決しました。

予算規模は、一般会計902億4千万円、特別会計が717億9250万円、公営企業会計が293億5800万円、総額では1913億9050万円となりました。これは前年度より30億4400万円、1.6%の減となっています。予算編成は、総合計画改訂基本計画の推進を基調としつつ「新型コロナウイルスに対する徹底的な取り組みの実施」、「コロナ危機の中

でも止めてはならない施策の着実な推進」、「ポストコロナを見据え、未来につながるまちづくりを進める施策の加速・進化」という三つの視点に重きを置いて行われています。

3年度の本市財政は、感染症の影響の長期化に伴い、市税の大幅な減収が見込まれます。一方で、社会保障関係費や投資的経費などに加え、感染症の拡大防止や新しい生活様式に適應した市民サービス・市政運営に係る経費などの増加により、厳しい状況が続くと見込まれるため、年度を通して更なる行財政改革に取り組むことを予算編成の基本方針としています。

また、切れ目のない感染症対策を講じるため、国の15か月予算と歩調を合わせ、2年度3月補正予算も含めた行財政運営を展開するとしています。

◆議員報酬月額の減額期間を延長

新型コロナウイルス感染症に対する緊急経済対策を実施する市の財政状況を鑑みて、議長、副議長及び議員の報酬月額を令和2年6月から3年3月まで、それぞれ5%の減額としていましたが、今定例会の最終日に、減額期間を3年9月まで延長する会議案が議員か

ら提出されました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

◆工事請負変更契約の締結

消防署本署新改築工事(建築)では、地下水及び地中障害に対応するための変更や庁舎内外部の仕様変更が、吉沢公民館新改築工事(建築)では、残土処分方法の変更や鉄筋・コンクリート工事における基礎形状変更などが必要であることから、それぞれ工事請負金額が増額となり、変更契約の締結について議会の議決が求められました。

採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆人事案件に同意

人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。
○嶋津隆子氏(榎木町)
○目黒孝氏(出縄)
○椎野令子氏(札場町)

◆松本敏子議員に対する戒告の懲罰を可決

今定例会の第5日目に行われた松本敏子議員の総括質問において不適切な発言があったとして、松本議員に対する懲罰の動議が提出されたことから、委員会条例に基づき懲罰特別委員会を設置しました。

委員会での審査の結果、戒告の懲罰を科すべきことが最終日の本会議で報告され、採決の結果、賛成多数でこれを可決しました。(関連記事を7面に掲載しています)

主な内容

代表質問・総括質問	2~6面
清風クラブ	2・4
佐藤貴子 数田俊樹 須藤量久 黒部栄三	
しらすぎ・無所属クラブ	2・5
金子修一 白井照人 端 文昭	
公明ひらつか	3・5
秋澤雅久 石田美雪	
湘南フォーラム	3・6
出村 光 山原栄一	
日本共産党平塚市議会議員団	6
松本敏子	
無所属	6
小泉春雄 久保田聡	
常任委員会の審査概要	7面
審議の結果	8面

令和3年度 当初予算 主な事業を紹介

《常任委員会での審査概要は7面に》

ウィズコロナ・ポストコロナに対応する「新たな日常」の構築に向けた施策

- マイナンバー推進事業(2億4,740万円)
…行政手続きのデジタル化に向けた関連窓口の強化と、マイナンバーカードの円滑な交付及び電子証明書の利活用推進
- 中央図書館業務事業(1億2,087万円)
…インターネットを通して電子書籍を利用できるようにするための電子図書館の導入など

強みを活かしたしごとづくり

- 中小企業金融支援事業(15億5,011万円)
…中小企業の事業の拡大や積極的な設備導入を促進するための新たな制度の創設など

令和3年度予算について、コロナ対策関連事業及び総合計画改訂基本計画に掲げる四つの重点施策の中から主な事業を紹介します。

子どもを産み育てやすい環境づくり

- 民間保育所助成事業(2億7,774万円)
…施設の清掃や消毒、給食の配膳などを行う保育支援者の配置経費に対する補助金の創設など

いくつになってもいきいきと暮らすまちづくり

- 高齢者生活支援事業(809万円)
…認知症損害賠償責任保険付き見守りGPSの貸与など

安心・安全に暮らせるまちづくり

- 防犯設備整備事業(6,653万円)
…迷惑電話防止機能がある機器の購入費補助など
- 風水害対策事業(2,888万円)
…高潮ハザードマップの作成、配布など

代表質問

3月定例会では、会派を代表する4人の議員が、年度の予算などについて「代表質問」を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ

佐藤 貴子 議員

市長に問う、施政方針より



問 一般会計歳入では法人市民税の落ち込みが著しく、市税全体では前年度比約28億円の減収を見込んでいます。新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えないうちで、本市の財政運営について見解を伺う。

市長 一般会計では、歳入の根幹である市税の大幅な減収が見込まれることから、これまで着実に積み立ててきた財政調整基金の活用や、市債の発行に加え、事業の緊急性を十分に精査して一部の事業を先送りするなどにより財源を確保した。一方で、感染症の拡大防止に向けた取り組みや、デジタル技術の活用による新たな日常の構築に向けた取り組みなどに財源を集中することで、感染症への対応、未来につながるまちづくりを進めることとした。感染症の収束が見通せない状況においては、これまでに以上に全体最適の考え方に基づき、選択と集中の視点を持って行財政改革を進めることで、効率的・効果的な行財政運営によるまちづくりを実現していく。

問 今までしっかりと積み立ててきた財政調整基金があり、この1年間はその取り崩しをすることができた。今後、コロナ禍の影響が回復する兆しが見えたときに、経済を回して財政調整基金を積み直していかなければならないと思う。どのような見直しを立てているのか。

市長 今回思い切って財政調整基金を使うが、標準財政規模の10%である70億から80億円ぐらいの基金が常に必要である。それに向けて、事業を精査し、取り組みを効率的に進めていくという状況において、年度間の予算に、ある程度余裕ができたときにはしっかりと積み増しをしていきたいと思っている。

デジタル化に向けて

問 本市では、これまでも市税のキャッシュレス決済や、スタアライトポイント事業などを推進し、市民生活の利便性の向上に努めてきた。これから、感染症と集中の視点で事業の精査

平塚市予算について 市債(借入金)減額

問 令和3年度の市債残高は全会計でいくらか。

市長 3年度末の見込みは約1086億円である。

問 どう減額するのか。

市長 将来世代への過度な負担とならないよう、選択と集中の視点で事業の精査

を進め減額に努めていく。

問 債務負担行為はどう減額するのか。

企画政策部長 財政状況を鑑み、適正な取り扱いをしていきたい。

本市のコロナ対策

問 市内病院の新型コロナウイルス感染者の病床利用率を伺う。ほかの疾患

つひらぎ・無所属クラブ

金子 修一 議員



平塚市役所 行政改革

を進め減額に努めていく。

問 債務負担行為はどう減額するのか。

企画政策部長 財政状況を鑑み、適正な取り扱いをしていきたい。

本市のコロナ対策

問 市内病院の新型コロナウイルス感染者の病床利用率を伺う。ほかの疾患

総合計画重点施策I

デジタル化の取り組みを着実に進めていく。

問 中心市街地活性化推進事業として、平塚駅北口下りエスカレーター及びエレベーター利用経路の整備費として約5億3千万円を計上している。事業のスケジュールと、期待される効果を伺う。

市長 駅北口は、市民の利用が最も多い乗降口であるにも関わらず、下りエスカレーターやエレベーターが設置されておらず、長い間不便をかけている。下りエスカレーターの整備に関し

では、JR東日本及び湘南ステーションビルと協議を重ね、令和3年夏頃から工事に着手し、おおむね1年間の工事期間を予定している。また、エレベーター利用経路の整備に関しては、ラスカ平塚の既存エレベーターを利用することについて、湘南ステーションビルの協力が得られることとなり、3年度の経路整備工事を経て、4年度から利用できるように進めている。これらの整備による効果として、本市の顔である駅北口の利便性が向上し、誰もが安心して、快適に利用できるようになることを考えている。

このほかの質問

総合計画重点施策II・III・IV 新型コロナウイルス感染症への対応(ワクチン接種の着実な推進、「断らない救急」を担う救急体制、市内の受け入れ態勢)ほか

ふるさと納税 増収の対策

問 元年度の市外への流出額を伺う。

市長 ふるさと納税による元年度の市民税の減収額は約3億1千万円である。

問 返礼品は担当課任せではなく、庁内で総合的に対策を講じてはどうか。

企画政策部長 今後、全庁的に働き掛けるなどの工夫をしていきたい。

渡部議員 不起訴の検証

問 個人情報保護条例違反による告発が不起訴になったという内容が、2年10月23日に市のホームページで発表された。なぜ本人が否定しているのに3万1429件の個人情報を持ち出したと発表し告発したのか。本市職員が家族2人に選挙権が及ぶことを告発した根拠として、証拠能力が脆弱ではないか。

総務部長 本人との面談や

オリオンピック・パラリンピック予算

問 大会終了後、担当課はどうするのか。

市長 事務内容を他課に引き継ぐなど、組織を整理していきたいと考えている。

問 リトアニアとの姉妹都市締結は考えているのか。

市長 これまでさまざまな分野で交流を進めているが、姉妹都市締結は議会や

パンコンの記録などに基づき、個人情報保持出され盗用された疑いがあると判断した。告発は刑事訴訟法に基づき市の義務と考えている。市としてできる限りの調査を行い、警察の捜査、司法の判断に委ねた。

問 選挙はがき2通の現物を入手しているのか。

総務部長 2通のうち1通は入手している。

問 告発状は市の顧問弁護士が作成したのか。

総務部長 本市職員が作成した。

問 告発状を読んだが、証拠もなく、ただ間接的なことが書かれた文章で、これで見解を伺う。

市長 そもそも本人がこのような行動をしなければ今回のことは起こっていない。市が無理やり告発したように言われるがそのようなことは決してない。

問 個人情報保護条例第63条を適用するには、個人情報を選挙はがきに使った事実をしっかりと確認しなければいけない。最初に3万1429件と発表してしまったからこのような結果になったのではないのか。

総務部長 本人が面談で、欲しいファイルなどを移そうと思っていたとの主旨の話をしていて、データの記録や6回にわたる面談など、多くの事実の積み重ねから持ち出した可能性が高いと判断した。

公明ひらつか

秋澤 雅久 議員

コロナに打ち勝つまちをめざして



令和3年度予算

問 市民の先行き不安と閉塞感を払拭する希望と安心の社会ビジョンを示すことが行政の重大な責務と考えるが、当初予算にどう反映されたのか。

市長 総合計画改訂基本計画の推進を基調としつつ、ワクチン接種などの新型コロナウイルスに対する徹底的な取り組みの実施、コロナ危機の中でも止めてはならない施策の着実な推進、ポストコロナを見据え、未来につながるまちづくりを進める施策の加速・進化と

いう三つの視点に重きを置くことで、希望と安心の社会ビジョンの実現に資する予算編成とした。

問 コロナ禍では一層の行政改革が必要と思うが、どこに力点を置き、いかなる付加価値を進めるのか。

市長 コロナ禍において民間活力の活用や施設の総合的管理など、行政改革計画の取り組みを着実に進めていく。また、デジタル化の取り組みを積極的に進めることで、市民の利便性の向上、業務の効率化を図るなど、行政サービスの向上につなげていく。

問 新産業創出に向けた産業間連携や知的対流推進を更に深化させていくことについての考え方を伺う。

市長 SDGsが掲げる持続可能な社会の実現も踏まえ、産学公の共同研究による新たな技術開発などへの支援や、産業間ネットワークによる新商品・新事業の創出などを広く展開することで、更なるイノベーションや新産業の創出につなげていきたい。

問 公共工事の従事者の働き方改革も進めるべきと考えるが、処遇改善や生産性向上にどう取り組むのか。

市長 公共工事の従事者の働き方改革も進めるべきと考えるが、処遇改善や生産性向上にどう取り組むのか。

問 新産業創出に向けた産業間連携や知的対流推進を更に深化させていくことについての考え方を伺う。

市長 SDGsが掲げる持続可能な社会の実現も踏まえ、産学公の共同研究による新たな技術開発などへの支援や、産業間ネットワークによる新商品・新事業の創出などを広く展開することで、更なるイノベーションや新産業の創出につなげていきたい。

問 公共工事の従事者の働き方改革も進めるべきと考えるが、処遇改善や生産性向上にどう取り組むのか。

市長 公共工事の従事者の働き方改革も進めるべきと考えるが、処遇改善や生産性向上にどう取り組むのか。

問 龍城ヶ丘ゾーンの整備について、担当部長の意気込みを伺う。

都市整備部長 持続可能なまちとして、選ばれるまち、住み続けるまちを目指している。その魅力づくりの一環として、海のあるまち平塚として海の魅力を享受できる海辺の総合公園づくりに取り組んでいる。今後、着実に整備を進めていきたい。

問 消防団員を増やす手段として、消防団員とその家族が登録店で割引を受けられる「かながわ消防団応援の店登録制度」を県と県消防協会が実施している。市内の登録店を増やすなど、入団へのインセンティブを検討してはどうか。

消防長 本市のホームページから登録店を見ることができ、リンクを張るなどしてPRをしていく。県や県消防協会にも市内に登録店を増やしてもらおうことを働き掛けたい。

問 マイナンバーカード普及策の一つとして、マイキーIDとひも付けたカードで決済が可能な、地域デジタル通貨を活用することでスマートフォンを持たない高齢者も参加でき、キャッシュレス化も進めることができるのではないか。

市長 国によるマイナンバーの仕組みを自治体が活用する、自治体マイナンバー事業の動向を注視し、キャッシュレス化の研究を進め、多くの市民が利便性を実感できるよう取り組みを進めていく。

湘南フォーラム

出村

光 議員



施政方針とコロナ総合対策を問う

強みを活かしたしごとづくり

問 中心商店街へ出店を希望する事業者や、商業者などによるまちの活性化に向けた取り組みへの支援内容を伺う。

市長 中心街活性化事業補助金において、家賃や店舗改装費への補助率、補助限度額を引き上げるなどして出店促進を図っていく。若手商業者などで組織する平

塚まちなか活性化隊の取り組みに対しては、コンサルタントの派遣などを通じて活動を支援している。

問 地域資源を活用した新商品の開発などへの支援について、具体的な内容を伺う。

市長 市内事業者の連携による新商品の開発や新事業の創出、また販路拡大などにつながる取り組みを支援している。2023年度までに28件の商品開発や事業

創出を目標にしており、これまで16件の事業が創出された。事業者が産業の枠を超えて連携した、付加価値のある商品開発につながっている。

問 避難所の間仕切りテナントやマンホールトイレ、段ボールベッドの整備状況を伺う。

市長 間仕切りテナント8張、段ボールベッド10組を各避難所へ配備しており、さらに補正予算で間仕切りテナントを2張追加する。トイレについては令和3年度

後、着実に整備を進めていきたい。

いきいきと暮らすまちづくり

問 本市の高齢化率は28.2%である。高齢者の就労支援にどう取り組むのか。

市長 生きがい事業団が策

定した経営改革に係る構想を踏まえ、高齢者の就労促進に向けた取り組みを支援していく。また、ハローワーク平塚などと連携し、セミナーや個別相談会も開催する。

問 避難所の間仕切りテナントやマンホールトイレ、段ボールベッドの整備状況を伺う。

市長 間仕切りテナント8張、段ボールベッド10組を各避難所へ配備しており、さらに補正予算で間仕切りテナントを2張追加する。トイレについては令和3年度

後、着実に整備を進めていきたい。

後、着実に整備を進めていきたい。

安心・安全に暮らせるまちづくり

問 避難所の間仕切りテナントやマンホールトイレ、段ボールベッドの整備状況を伺う。

市長 間仕切りテナント8張、段ボールベッド10組を各避難所へ配備しており、さらに補正予算で間仕切りテナントを2張追加する。トイレについては令和3年度

後、着実に整備を進めていきたい。

後、着実に整備を進めていきたい。

後、着実に整備を進めていきたい。

後、着実に整備を進めていきたい。

請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託し、審査します。その後、委員会審査の結果を本会議に報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものですが、紹介議員を必要としないという違いがあります。提出後は議会運営委員会での取り扱いについて協議します。

GIGAスクール

問 国のGIGAスクール

問 授業におけるICT機器の活用度を向上させる工夫と、不安を感じる教員へ

へのサポート体制を伺う。

企画政策部長 民間との双方のやり取りも大いに必要であると考え、前向きに検討したい。

問 授業におけるICT機器の活用度を向上させる工夫と、不安を感じる教員へのサポート体制を伺う。

教育長 指導主事が関わる「授業づくり推進事業」として指定校を設け、機器の効果的活用を検証し、他校へ周知することで活用度の向上を図る。また、ICT活用研究会を立ち上げ、具体的な実践事例の調査・研究を行い、各校に紹介するなどして教員の不安解消に努めていく。

に65歳未満の人を対象に接種券を送付する予定である。随時、広報ひらつかやタウン紙、ホームページなどに情報を掲載していく。

このほかの質問 GIGAスクール構想 待機児童 平塚波力発電所

1面写真を募集

議会だよりの1面に掲載する写真を募集しています。詳しくは議会局までご連絡ください。(議会局 ☎21-8791)



総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、10人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ

持続可能なまちづくり

数田 俊樹 議員



問 2015年に策定された公共施設等総合管理計画は、10年間で公共施設の延べ床面積総量を4%相当縮減することを目標としていたが、このほど示された改定素案では、2021年以降の10年間で1・5%相当の縮減へと大きな変更を行った。目標を見直した理由と、目標値を1・5%とした根拠を伺う。

副市長 計画の改定に当たり、施設の長寿命化のための改修周期や、施設総量を管理する対象施設の範囲などを見直したところ、今後必要となる施設の更新費用などに変化が生じたため、管理目標を見直した。また、今後の30年を10年ごとの期間に分け、期間ごとに想定される建て替え費用に応じて不足額を案分した結果、最初の10年間で解消すべき不足額の更新費用に占める割合が1・5%となり、これを目標値とした。

問 10年間で目標を達成すると言いつつ、削減が再度の変更も考えられると思うが、1・5%相当の縮減は

インターネット中継

本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。議員、会派、ことばなどを検索して映像を選べます。録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。

問 本市の北西部及び西部地域には、地震による崩壊の危険がある崖が多くあり、これらの区域に対する迅速な対策が求められる。これまでの取り組みについて伺う。

副市長 本市の北西部及び西部地域には、地震による崩壊の危険がある崖が多くあり、これらの区域に対する迅速な対策が求められる。これまでの取り組みについて伺う。

問 土砂災害警戒区域などについては、主にソフト面での対策しかできないことは理解しているが、逗子市では、対策を進めるために民有地での防災工事助成制度を始めた。このような制度が必要と考えるが、見解を伺う。

副市長 土砂災害警戒区域などについては、主にソフト面での対策しかできないことは理解しているが、逗子市では、対策を進めるために民有地での防災工事助成制度を始めた。このような制度が必要と考えるが、見解を伺う。

問 コロナ禍で災害が起きた場合には、避難所に行きたくないという人もいると思う。本市の方針とは違うが、車中泊も検討すべきと考えられる。見解を伺う。

副市長 コロナ禍で災害が起きた場合には、避難所に行きたくないという人もいると思う。本市の方針とは違うが、車中泊も検討すべきと考えられる。見解を伺う。



さらに、選ばれるまち、住み続けるまちに

黒部 栄三 議員

今後の図書館運営

問 昭和45年に知の拠点として中央図書館が設置された。昭和57年には移動図書館のあおぞら号が誕生し、その後、北、西、南図書館が順次設置された。令和2年度には、中央図書館の窓口等業務の民間委託を導入し、また、移動図書館の在り方の検討や、地区図書館への指定管理者制度導入の準備を進めてきた。現在、移動図書館のあおぞら号は廃止する方向であるが、それを補完する体制について伺う。

両の維持管理費用など、費用対効果を考慮しつつ、市民にとってより利用しやすい方法を検討してきた。特に利用者が多い金目・岡崎地区については、地区内の公共施設や高齢者の利用施設などと連携し、予約した本の受け取りができる窓口の設置や、配本サービスを行うなど、読書環境の整備を進めたいと考えている。

問 市長は「さらに選ばれるまち、住み続けるまち」を目指しているが、図書館などの文化施設が充実していることはまちの魅力になる。最近の図書館のトレンドはカフェを併設したり、話し合いのスペースや親子で遊べる場所を設置したり、多くのニーズに応えら

れる施設になっている。一方で、年代や地域で行政サービスの格差があつてはならないと思っている。人口増が顕著な金目地区に子供から子育て世代、高齢者までが利用でき、子育て機能や公民館機能を併せ持った複合施設を検討すべきと思うが、見解を伺う。

副市長 以前から地域の声があることは承知しており、いろいろな機能を持つ複合施設は大変魅力的であると思う。しかし、本市としては4館構想で進めてきた経緯がある。公共施設等総合管理計画などを踏まえ、検討事項とした。

このほかの質問 有害鳥獣について、歳入確保策について



防災・減災体制のさらなる強化を。

須藤 量久 議員

平塚市地域防災計画改訂から

問 本市の北西部及び西部地域には、地震による崩壊の危険がある崖が多くあり、これらの区域に対する迅速な対策が求められる。これまでの取り組みについて伺う。

副市長 本市の北西部及び西部地域には、地震による崩壊の危険がある崖が多くあり、これらの区域に対する迅速な対策が求められる。これまでの取り組みについて伺う。

問 土砂災害警戒区域などについては、主にソフト面での対策しかできないことは理解しているが、逗子市では、対策を進めるために民有地での防災工事助成制度を始めた。このような制度が必要と考えるが、見解を伺う。

副市長 土砂災害警戒区域などについては、主にソフト面での対策しかできないことは理解しているが、逗子市では、対策を進めるために民有地での防災工事助成制度を始めた。このような制度が必要と考えるが、見解を伺う。

問 コロナ禍で災害が起きた場合には、避難所に行きたくないという人もいると思う。本市の方針とは違うが、車中泊も検討すべきと考えられる。見解を伺う。

副市長 コロナ禍で災害が起きた場合には、避難所に行きたくないという人もいると思う。本市の方針とは違うが、車中泊も検討すべきと考えられる。見解を伺う。

清風クラブ

所属議員



片倉 章博 議員



野崎 審也 議員



諸伏 清児 議員



坂間 正昭 議員

しらすぎ・無所属クラブ



平塚市の将来を見据えて

白井 照人 議員

見附台周辺地区の整備について、近隣住民をはじめ多くの市民から商業施設の配置や看板に関する苦情を耳にする。景観重点区域の歴史軸に相応しい建物と考えているのか。

景観審議会の意見は要求水準書に反映できているのか。景観重点区域の眺望が、その阻害しているのではないか。

景観審議会の意見は要求水準書に反映できているのか。景観重点区域の眺望が、その阻害しているのではないか。

動物の命を守る。昨年、海老名市で起きた多頭飼育崩壊は、どこでも起き得ることである。本市の対策を伺う。

一人も取り残さない、明るく未来の為に。石田 美雪 議員

難病の網膜色素変性症などにより視野狭窄や夜盲の症状がある人を支援するために開発された暗所視力検査の実施状況を伺う。

準備を進めている家計改善支援や就労準備支援など、相談者の状況に応じたきめ細かい支援に努めていく。



学校給食の現状と課題及び龍城ヶ丘の公園開発を問う

端 文昭 議員

要求水準書の目的や基本方針に合致しているか。都市整備部長 景観に配慮した建物や歩道の色合いであると考えている。

小学校の給食費が昨年4月に月額3800円から4300円へ約13%引き上げられた。議会に諮らず値上げをした理由を伺う。

中学校完全給食の実施に向けて、学校給食基本構想・基本計画を策定した。策定業務の委託先と金額を伺う。

相模川氾濫時の浸水想定区域となっているが、災害リスクの対策はあるのか。

相模川氾濫時の浸水想定区域となっているが、災害リスクの対策はあるのか。

通勤や通学、災害時の避難などで大きな助けになると考える。県内では小田原市で陳情が採択されるなどの動きがあるが、見解を伺う。

厚木市では令和3年度予算に盛り込んだと聞いている。それらを踏まえて今後検討していく。

この制度は、住宅の改修費補助や入居者の経済的支援など、所有者と入居者双方にとってメリットがあり、本市が取り組む空家の利活用の促進につながる。空家所有者へ登録に関する情報を発信することで制度の周知に努め、空家対策と連携した取り組みを進めていく。

歴史軸に合っていないという市民からの意見を事業者に伝え、改善を要求すべきである。見解を伺う。

小学校長などで構成する市学校給食会に諮り決定することになっている。公会計化するメリットとデメリットを伺う。

PFI導入可能性調査など複数の業務を一括して、株式会社、大南関東支店に2200万円を委託した。

PFI手法で整備費56億円、建物建設費47億円は非常に高いのではないかと学校教育局長 試算の価格が高いとは考えていない。

厚木市では令和3年度予算に盛り込んだと聞いている。それらを踏まえて今後検討していく。

3歳児の視力検査で異常を見逃すと治療が遅れ、十分な視力が得られなくなる場合がある。それをどのように周知しているのか。

高齢者、障がいのある人など、自力で住宅を確保することが難しい住宅確保要配慮者が増えている。住居確保給付金の支給期間終了後も引き続き支援が必要と考えるが対応を伺う。

幼稚園において、視力検査のマニュアルを園に配布し、取り組んでいかなければいけないと考えている。

東海道本通り線沿いにある看板が正しいものかよく考えたのか。

大きくて派手な看板であると感じているが、屋外広告物条例に基づき事業者が設置しているものである。

未納率が上昇する懸念がある。給食費の無償化は明石市や大阪市など大都市でも行っている。本市の小学生は約1万2千人であるから約5億5千万円で実現できる。市長の見解を伺う。

財政負担の軽減や、6年9月までの供用開始、財政支出の平準化などの観点で検討した結果、市が設計、発注、建設を行う従来手法よりもPFIの事業手法の方が有利であるとの結論が導かれた。

西地域に小さな調理場も検討したがコストの面などから1場の整備とした。

厚木市では令和3年度予算に盛り込んだと聞いている。それらを踏まえて今後検討していく。

幼稚園において、視力検査のマニュアルを園に配布し、取り組んでいかなければいけないと考えている。

この制度は、住宅の改修費補助や入居者の経済的支援など、所有者と入居者双方にとってメリットがあり、本市が取り組む空家の利活用の促進につながる。空家所有者へ登録に関する情報を発信することで制度の周知に努め、空家対策と連携した取り組みを進めていく。

以前聞いた堀繁東京大学名誉教授の景観形成についての講演で、見せたいものの手前に大きなものをつ

市長 給食費の無償化は子供

市が設計、発注、建設を行う従来手法よりもPFIの事業手法の方が有利であるとの結論が導かれた。

西地域に小さな調理場も検討したがコストの面などから1場の整備とした。

厚木市では令和3年度予算に盛り込んだと聞いている。それらを踏まえて今後検討していく。

幼稚園において、視力検査のマニュアルを園に配布し、取り組んでいかなければいけないと考えている。

この制度は、住宅の改修費補助や入居者の経済的支援など、所有者と入居者双方にとってメリットがあり、本市が取り組む空家の利活用の促進につながる。空家所有者へ登録に関する情報を発信することで制度の周知に努め、空家対策と連携した取り組みを進めていく。

この制度は、住宅の改修費補助や入居者の経済的支援など、所有者と入居者双方にとってメリットがあり、本市が取り組む空家の利活用の促進につながる。空家所有者へ登録に関する情報を発信することで制度の周知に努め、空家対策と連携した取り組みを進めていく。

公明ひらつか

しらすぎ・無所属クラブ 所属議員



渡部 亮 議員



江口 友子 議員



府川 勝 議員



上野 仁志 議員



鈴木 晴男 議員



永田 美典 議員

常任委員会の審査概要

本市議会では、四つの常任委員会を設置しています。今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して詳細な審査を行いました。各委員会の主な質疑を紹介します。

総務経済

議案10案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第11号 平塚市附属機関設置条例の一部を改正する条例

問 学校給食センターの整備等を行う事業者の選定について調査審議する附属機関を設置するが、PFI手法を実施する際は附属機関を設置すると決まっているのか。

答 市のガイドラインにおいて、専門性や客観性を確保するために学識経験者などで構成する委員会を附属機関として設置することになっている。

○議案第26号 令和3年度平塚市一般会計予算

問 総務費の庁舎維持管理事業は昨年度から大きく減額している。

日々の点検回数などが減るのか。

答 2年度に空調の冷温水発生装置をオーバーホールした分が減額した。また、電気の購入先が新電力に変わり減額した。

問 防災訓練強化事業で、3年度の総合防災訓練の内容を伺う。

答 8月下旬に総合公園で関係機関との連携による訓練と防災フェアを行う予定である。

問 商工費の平塚産品普及促進事業では、コロナ禍で対面のイベントができなかったため、通信販売のホームページを準備していると思う。具体的な取り組みを伺う。

答 ホームページを作成し、事業者のサイトにつなげていく。3年度は有料情報サイトなどに掲載し、名産品の普及や取引などにつなげていきたい。

教育民生

議案2案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第26号 令和3年度平塚市一般会計予算

問 民生費の文化芸術ホール開館準備事業について、開館記念式典とは何を想定しているか。

答 4年3月26日の開館を予定しており、式典としてテープカットや関係者挨拶、開館記念公演としてオーケストラによるコンサートを想定している。また、27日から31日までさまざまな開館イベントを行いたいと考えている。

問 教育費の外国人英語指導者の学校訪問事業で、AETが何人かで学校を訪問する事業があるようだが、その内容を伺う。

答 イングリッシュデイといってAETが1校に3人ほど訪問し、学年や学校が英語漬けになる日を設けることを2年度に予定していたが、コロナ禍で実施できなかった。3年度は各小学校で実施できるようにしたい。

問 教育指導事業で、スクールロイヤーを導入する経緯を伺う。

答 学校への過剰な要求など法務の専門家への相談が必要な機会が増えている。学校の様子が変わった上で助言をもらえる弁護士を必要としているため導入に至った。

問 中学校完全給食準備事業について、今後中学校で給食が始まる予定であるが、給食を受け入れる学校の施設整備の内容を伺う。

答 小荷物専用昇降機の設置や、配膳室、受入室の整備を行う。

都市建設

議案6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第25号 損害の賠償について

問 実際の橋の形状が、市が依頼した内容と違い工事が行えなかったため受注者の損害を賠償する。その内容や範囲は妥当なのか。

答 契約約款や民法の判例などから、準備工事の費用や工事が完成した場合に得られたであろう利益を損害賠償している。受注者から提出された費用などの見積もりを精査し、弁護士相談を行った上で金額が妥当であると判断した。

○議案第26号 令和3年度平塚市一般会計予算

問 土木費の道路施設維持管理事

業は、昨年度から6千万円以上減額しているが、その理由を伺う。

答 道路照明などのLED化が完了し、電気料金が大幅に削減された。また、2年度に地下道のポンプ関連施設やエスカレーターの修繕を行った分が減額した。

問 湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業は、設計や造成に2億円を計上しているが、工事は具体的に何を行う予定か。

答 県の占用許可が下りた後、プールの撤去や事業エリアであるプール跡地とその東側のエリアの埋め立てなどの造成工事を行う。

問 消防費の常備消防事業について、オリンピック競技の藤沢会場へ消防の部隊を派遣するのか。

答 テロ災害による被害の軽減を目的に警備を実施する。

環境厚生

議案13案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願2件のうち1件は継続審査、1件は不採択とすべきものと決定しました。

○議案第26号 令和3年度平塚市一般会計予算

問 民生費の生活困窮者自立支援事業は、扶助費が昨年度の約160万円から2,050万円に増額している。その理由を伺う。

答 住居確保給付金について、2年度の国の制度改正で急激に利用が増え、3年度も利用が見込まれるとして予算を計上している。

問 福祉会館等管理運営事業及び余熱利用施設管理運営事業は、コロナ禍で利用停止などがあったと思うが減収への補償はあるのか。

答 福祉会館やリフレッシュプラザなどの指定管理者には、2年度に行われなかった事業費や削減した人件費などを返還してもらう。一方、市の指示で停止していた期間の利用料収入は市が補償する。

問 放課後児童健全育成事業は8千万円ほど増額している。その内容を伺う。

答 放課後児童クラブの分割などによる支援単位の増加や、余裕教室の改修工事などがある。

○議案第32号 令和3年度平塚市病院事業会計予算

問 災害時医療提供推進事業について具体的な内容を伺う。

答 水害による被害を軽減するために、新館周囲のフェンスの基礎に板を立ち上げ、免震層に浸水しないよう修繕する予定である。

松本敏子議員に対する懲罰について

◆懲罰特別委員会を設置

本会議第5日目(3月3日)の総括質問において、松本議員が根拠のない不適切な発言をしたとして、6人の議員から懲罰の動議が提出されました。この件を審査するため、委員会条例の規定に基づき懲罰特別委員会を設置し、3月3日、8日、11日に開催した委員会において審査を行いました。

【委員長】佐藤 貴子

【副委員長】端 文昭

【委員】諸伏 清児、鈴木 晴男
金子 修一、山原 栄一

◆本会議で戒告の懲罰を可決

委員会の審査では、執行部からの説明と松本議員からの弁明を聞いた後、各委員から意見が述べられました。討論では、懲罰を科すべきという立場と、科すべきではないという立場から発言があり、採決の結果、賛成多数で懲罰を科すべきものと決定しました。

懲罰の種類については、採決の結果、賛成多数で、公開の議場における戒告の懲罰を科すべきものと決定しました。

本会議最終日(3月17日)に、委員長から審査報告があり、質疑、討論の後、採決の結果、賛成多数で戒告の懲罰を科することに決定し、議長から戒告文が読み上げられました。

◆戒告文

松本敏子議員は、令和3年第1回平塚市議会定例会本会議5日目の総括質問の発言のなかで、根拠のない不適切な発言をしました。このことにより、平塚市議会はこの発言を地方自治法第132条(品位の保持)並びに平塚市議会会議規則第141条(品位の尊重)に抵触するというので、平塚市議会で初めての懲罰特別委員会が3月3日に全会一致で設置されました。懲罰特別委員会2日目の場で弁明を求めましたが、不適切発言の反省もなく、弁明も争点を外れ、納得できるものではなく、誠に遺憾であります。

よって地方自治法第135条第1項第1号の規定により戒告とします。

審議の結果

市長提出議案

議案番号	件名	結果	清	し	公	湘	共	A	B
第2号	令和2年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第3号	令和2年度平塚市競輪事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第4号	令和2年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第5号	令和2年度平塚市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第6号	令和2年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第7号	令和2年度平塚市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第8号	令和2年度平塚市病院事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第9号	令和2年度平塚市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第10号	平塚市学校給食費の管理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第11号	平塚市附属機関設置条例の一部を改正する条例	可決	○	×5退1	○	○	○	○	○
第12号	平塚市一般職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び平塚市パートタイム会計年度任用職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第13号	平塚市手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第14号	平塚市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第15号	平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○4退2	○	○	×	○	○
第16号	平塚市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○
第17号	平塚市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第18号	平塚市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第19号	平塚市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第20号	平塚市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第21号	平塚市火災予防条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第22号	工事請負変更契約の締結について〔消防署本署新改築工事（建築）〕	可決	○	○	○	○	○	○	○
第23号	工事請負変更契約の締結について〔吉沢公民館新改築工事（建築）〕	可決	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 除は除斥 退は退席
(各会派の正式名称はページ左下に記載しています)

議案番号	件名	結果	清	し	公	湘	共	A	B
第24号	訴えの提起について	可決	○	○	○	○	○	○	○
第25号	損害の賠償について	可決	○	○	○	○	○	○	○
第26号	令和3年度平塚市一般会計予算	可決	○	○4退2	○	○	×1退1	○	○
第27号	令和3年度平塚市競輪事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第28号	令和3年度平塚市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○4退2	○	○	×	○	○
第29号	令和3年度平塚市水産物地方卸売市場事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第30号	令和3年度平塚市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○
第31号	令和3年度平塚市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第32号	令和3年度平塚市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第33号	令和3年度平塚市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第34号	平塚市特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×
第35号	平塚市一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第36号	平塚市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第37号	令和2年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第38号	人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

会議案番号	件名	結果	清	し	公	湘	共	A	B
第1号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×
第2号	平塚市議会会議規則の一部を改正する規則	可決	○	○	○	○	○	○	○

請願

請願番号	件名	付託委員会	結果
令和2年 第5号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願	環境厚生常任委員会	継続審査
第1号	後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の請願書	環境厚生常任委員会	不採択

報告

報告番号	件名
第1号	専決処分報告について

その他

件名	結果	清	し	公	湘	共	A	B
松本敏子議員に対する懲罰について	戒告の懲罰を科することに可決	○	×3退3	○	○	×1除1	○	退

お知らせ 会議録は5月下旬に公開

本会議など各種会議での質問や答弁などは、会議録にまとめて公開しています。3月定例会の会議録は5月下旬から公開します。市役所本館8階の議会図書室や5階の市政情報コーナー、各地区の公民館、各図書館でご覧ください。

会派と所属議員

清風クラブ (清)

佐藤貴子 数田俊樹 野崎審也 諸伏清児
坂間正昭 須藤量久 黒部栄三 片倉章博
※片倉議長は採決に加わっていません

しらさぎ・無所属クラブ (し)

渡部 亮 江口友子 端 文昭 金子修一
府川 勝 白井照人

公明ひらつか (公)

秋澤雅久 石田美雪 上野仁志 鈴木晴男
永田美典

湘南フォーラム (湘)

府川正明 山原栄一 出村 光

日本共産党平塚市議会議員団 (共)

石田雄二 松本敏子

無所属

A久保田聡 B小泉春雄

市議会の傍聴について

5月臨時会及び6月定例会は、右記日程での開催を予定しています。本会議は午前10時に開会の予定です。

なお、定例会本会議はケーブルテレビ(S C N)での生中継と当日夜の録画放送、インターネットでの生中継と録画中継の配信を行っています。ぜひご利用ください。

今後の市議会の対応について

本紙に掲載されている情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みなどに伴い変更する場合があります。

詳細については議会局までお問い合わせください。

5月臨時会の予定

5月18日(水) 本会議 (正・副議長の改選など)

6月定例会の予定

6月4日(金) 本会議 (提案説明など)

15日(水) 本会議 (総括質問)

16日(木) 本会議 (総括質問)

17日(金) 本会議 (総括質問)

18日(土) 本会議 (総括質問)

22日(水) 常任委員会 (総務経済・都市建設)

23日(木) 常任委員会 (環境厚生・教育民生)

29日(水) 本会議 (表決など)

問い合わせ

平塚市議会 議会局 ☎0463-21-8791